

ENG085 TOEFL 対策講座

1年 1,2 クォーター

担当教員 皆島 博, 逸見 洋二郎

授業形態 演習

単位数 1

曜日・時限 火曜日・2時限

授業概要

TOEFL ITP (学内 TOEFL) で得点アップを目指すために、ITP の基礎知識と各セクション (1. Listening、2. Structure & Written Expression、3. Reading) の出題傾向やその対策法を学びます。実際の試験を想定して模擬問題を解くことを中心に行い、講師の解説で理解を深めていきます。また、各レクチャーの復習問題が宿題として課され、テストパターンに慣れていきます。

講座は 15 回で構成され、ITP のスコア向上を目指す方を対象としており、海外の大学、大学院進学希望者、どなたでも受講可能です。クラスはバイリンガルの日本人講師により日本語で行われます。TOEFL (R) を受験したことのない学生、TOEFL (R) 解法テクニックを身につけたい学生、そして留学を希望する学生に最適な講座ですが、テスト受験だけでなく総合的な英語力の向上を目指す学生にもお勧めです。

到達目標

学生は、

- (1) 英語における①聴解力、②文法理解力、そして③長文読解力の向上を図る
- (2) TOEFL の出題傾向を学ぶ
- (3) 問題形式別対応法を調べる
- (4) 語源、接頭語、イディオムを効率的に覚えられるテクニックを学ぶ。
- (5) 同じ目標を持った学生とともに留学応募のための語学能力基準をクリアすることを目標とする。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

- (1) Longman Preparation Course for the TOEFL : Test Paper Test Student Book with CD-ROM
- (2) B. Rogers *et al.* (2015) *A Practical Guide to the TOEFL ITP*, CENGAGE Learning [センゲージラーニング].

授業の方法

この授業は担当教員の講義形式で進める。内容によってグループ討論を行うことも取り入れる。

成績評価

7つのテーマ (地域経済とグローバリゼーション, 多様な政治構造, 都市と農村: 日本の課題・途上国の課題, 少子高齢化と住民生活, 文化, 地球市民社会の発展と役割, 多文化共生社会の実現) ごとに課題を設定し, レポートの提出を求め, これについて評価する。

成績

TOEFL ITP 模擬テスト	50%
授業への自発的参加	20%
宿題	30%

授業スケジュール

第1回: TOEFL へのイントロダクション

授業概要についてのオリエンテーション。

TOEFL を受験する目的および TOEFL の内容, 出題形式について解説する。

第2回：テキストの演習問題解答と解説

第3回：テキストの演習問題解答と解説

第4回：テキストの演習問題解答と解説

第5回：テキストの演習問題解答と解説

第6回：テキストの演習問題解答と解説

第7回：テキストの演習問題解答と解説

第8回：中間試験

ここまでの練習によってどの程度 TOEFL での得点力が伸びたのか模擬試験でためす。

第9回：テキストの演習問題解答と解説

第10回：テキストの演習問題解答と解説

第11回：テキストの演習問題解答と解説

第12回：テキストの演習問題解答と解説

第13回：テキストの演習問題解答と解説

第14回：テキストの演習問題解答と解説

第15回：テキストの演習問題解答と解説

まとめ

事前・事後学習

- (1) 予習：教科書の練習問題をあらかじめ解答しておき、疑問点を明らかにしておくこと。
- (2) 復習：授業で解答した練習問題のうち特に間違っただけをよく復習し、予習の過程で生じた疑問点を解決させること。